

2020年3月期第2四半期（累計）
（2019年4月1日～2019年9月30日）

決算参考資料

2019年 11月8日



東証・名証1部上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2020年3月期第2四半期（累計）業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-8-
5. 2020年3月期第2四半期（累計）のトピックス	-9-
6. 2020年3月期の業績予想	-14-

連結対象企業の事業内容



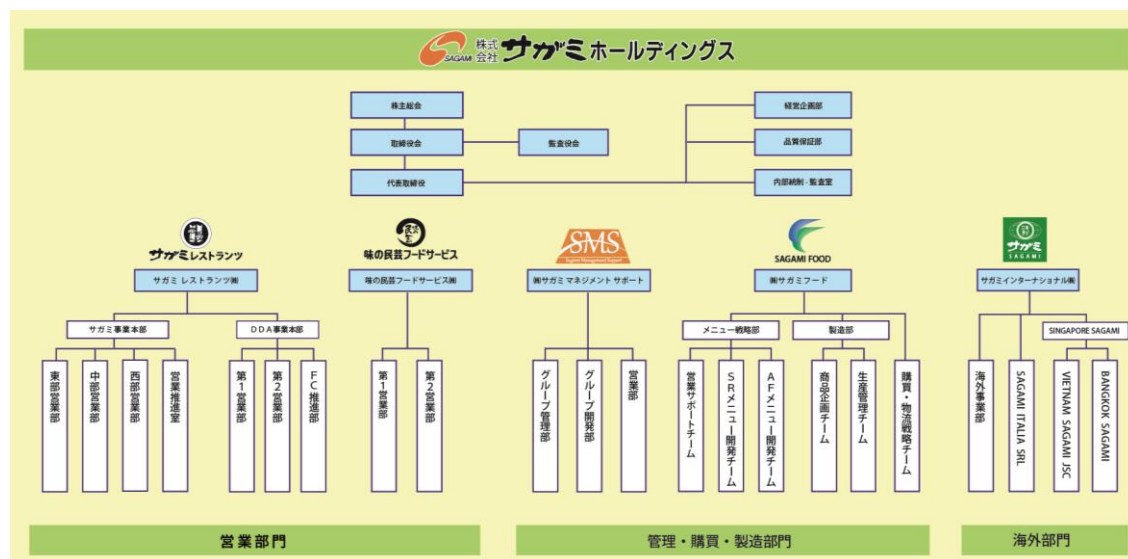
連結対象子会社一覧

名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100.00%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	4,750,000米ドル	100.00%	海外事業（ASEAN）の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	関係会社への投資
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100.00%	飲食店の経営
SAGAMI ITALIA S.R.L.	Italy	30,000ユーロ	51.00%	飲食店の経営

連結対象企業の事業内容

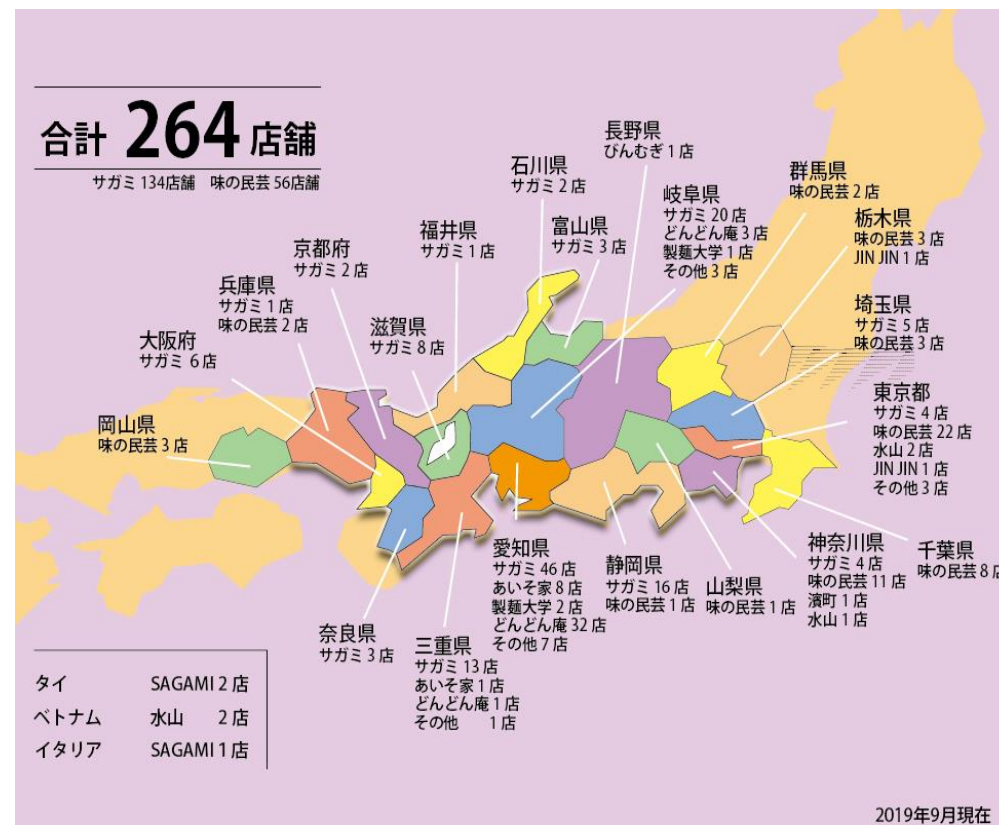


サガミグループ組織図



- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEANで事業の統轄を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。

地域別店舗分布



店舗展開の状況

	2019年 3月期	2020年3月期 計画			2020年3月期 第2四半期		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	135	4	4	135	1	2	134
どんどん庵（FC店舗含む）	34	1	-	35	2	-	36
味の民芸（FC店舗含む）	57	1	1	57	-	1	56
団欒食堂あいそ家	9	-	-	9	-	-	9
水山（FC店舗含む）	4	1	1	4	-	1	3
ぶぶか	2	2	-	4	-	-	2
その他国内店舗（FC店舗含む）	21	-	3	18	-	2	19
海外 タイ	2	-	-	2	-	-	2
海外 ベトナム	1	1	-	2	1	-	2
海外 イタリア	1	-	-	1	-	-	1
合計	266	10	9	267	4	6	264

- ◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。
- ◆ 海外店舗は、業績数値反映期間を2019年1月期～6月期としておりますが、店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2019年4月期～2019年9月期の状況にて記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2019年5月に「金沢松村店」を開店した一方、契約満了により、2019年4月に「いずみ中央店」、9月に「厚木文化会館前店」を閉店いたしました。これにより、当第2四半期末の店舗数は134店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態
2019年5月に「小田原店」を契約満了により閉店いたしました。これにより、当第2四半期末の店舗数はFC店舗を含め56店舗となりました。
- ◆ どんどん庵業態
2019年5月に「豊田逢妻店」を開店いたしました。また、2019年6月に「製麺大学 神の倉店」を「どんどん庵 神の倉店」に業態転換いたしました。これにより、当第2四半期末の店舗数はFC店舗を含め36店舗となりました。
- ◆ その他業態
2019年6月に「濱町 上大岡店」、2019年7月に「水山 丸の内オアゾ店」を契約満了により閉店いたしました。

国内業態におきまして、上記以外の店舗数増減はありません。

海外店舗展開

- ◆ ベトナム
2019年4月に「タイバンルン店」を開店いたしました。

以上により、2019年9月末のグループ店舗数は、国内259店舗、海外5店舗の計264店舗であります。



2020年3月期第2四半期（累計）業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円/円)

	2019年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 第2四半期（累計）	2020年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 差異
売上高	13,430	13,350	13,772	422
営業利益	405	355	284	△71
経常利益	433	375	320	△55
当期純利益	255	100	189	89
一株あたり 当期純利益	9.69	3.79	7.17	3.4

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	19,845	19,287
純資産	14,057	14,123
自己資本比率	70.8	73.2

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2019年3月期第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	487	172
投資活動によるキャッシュフロー	△389	△693
財務活動によるキャッシュフロー	1,088	△291

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は920百万円（2019年3月期第2四半期累計実績377百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は278百万円（2019年3月期第2四半期累計実績249百万円）となりました。

第2四半期（累計）のトピックス①



サガミホールディングス

- ◆ 2019年5月1日全店一斉休業
2019年のゴールデンウィークは暦の関係上、多くの方が10連休となりました。当社グループでは、5月1日（即位の日）に従業員の働く環境整備の一環として、グループ全店一斉休業を行いました。この取り組みを機に、より一層グループ社員、従業員の働く環境の改善を推進し、従業員満足とお客様満足の向上へ取り組み、さらなる企業価値の向上に繋げてまいります。
- ◆ 監査等委員会設置会社への移行
取締役会の監督機能を一層強化するとともに、業務執行の効率性の更なる向上を図るため、2019年6月27日の当社第49期定時株主総会においてご承認いただき、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。これにより、経営・監督と業務執行の分離を推進し、コーポレートガバナンスの更なる充実に努めてまいります。
- ◆ 本社移転による経営の迅速化
2019年7月に強固な事業基盤の構築への取り組みの一環として行いました。経営戦略とメニュー開発部門を統合することにより、スピード感をもったメニュー開発および価値の向上を今まで以上に効率を上げて取り組んでまいります。
- ◆ 保険事業の譲渡
2019年7月に主力事業に専念し、更なる企業価値の向上に繋げることを目的として、保険事業の譲渡を行いました。



第2四半期（累計）のトピックス②

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

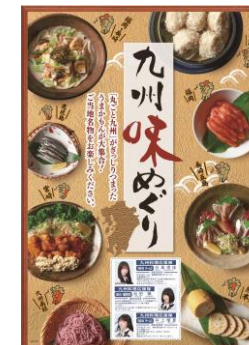
- ◆ アイドルグループSKE48とのタイアップ
名古屋を拠点に活動する女性アイドルグループSKE48のメンバー出演によるYouTube動画を通じて季節の限定商品や季節のフルーツをPR。
また各料理訴求のポスターにもSKE48メンバーを起用し、TwitterやInstagramなど彼女たちのSNSでの情報発信力を生かしたPRも展開し、売上向上を後押ししました。

和食麺処サガミ【公式】YouTube

URL <https://www.youtube.com/channel/UCdDuEnhU8-2dhGhbGQzq5g/>



- ◆ サガミ夏の大感謝祭
2019年7月12日（金）～15（祝/月）の4日間、恒例となったお客様感謝企画として『サガミ夏の大感謝祭』を開催いたしました。人気の商品をお値打ち価格で提供し、ご来店いただいたお客様には1,000円分のお食事値引き券をプレゼントいたしました。



第2四半期（累計）のトピックス③

サガミレストランツ（DDA事業本部）

- ◆ どんどん庵業態について
 - ・ どんどん庵業態では稲沢平和町店の出店以来、9年振りとなる豊田逢妻店を5月3日にオープンいたしました。（直営）
 - ・ また、製麺大学神の倉店を7月に業態変更し、どんどん庵神の倉店としてリニューアルオープンいたしました。（FC）
 - ・ 数年来、店舗数減少が続いていましたが、今年度2店舗を新規オープンし2店舗増加の36店舗となりました。
 - ・ 再成長に向けて営業力強化に取り組んでおります。
 - ・ どんどん庵大垣北店をFC化し、手付けとんかつ併設店としてリニューアルオープン。手付けとんかつ併設店は商品の付加価値向上メニューとして、今後も改装を機に多店舗展開を計画しております。
 - ・ 将来のキャッシュレス決済需要の高まりを鑑み、5月にどんどん庵伏見店にキャッシュレス決済端末を導入いたしました。
 - ・ お客様の利便性向上とレジ作業の簡素化も考え、順次導入を検討してまいります。

- ◆ かつたに業態について
 - ・ かつたにアピタ四日市店をかつたに業態FC化一号店として5月にFC化いたしました。
 - ・ 店舗の効率化・生産性向上を目的にイオンモールナゴヤドーム前店にだしマシンを導入。商品を提供する直前でだしと返しを混合するため、いつでも出来たての美味しさをご提供しています。



第2四半期（累計）のトピックス④

味の民芸フードサービス

- ◆ 味の民芸業態について
「民芸スタンダードから民芸クオリティへ」をスローガンに商品内容、接客内容の向上に取り組みました。味の民芸業態としては高付加価値メニューとして鹿児島産うなぎ使用メニュー、牛タンメニューを販売いたしました。今期、季節限定メニューにて新規導入した「牛タン」は肉料理としてお客様より多くの評価を頂戴いたしました。9月には味の民芸フードサービス全店舗を対象としたお客様投票による接客コンテストを実施しました。
- ◆ あいそ家業態について
生産性向上ならびに新たなサービスの提供を目的としたタッチパネル式のテーブルオーダーシステムの全店導入が完了しました。新規設備導入による効率化を目指す中で、生産性の向上が見られる中、9月におこなった接客コンテストではあいそ家川越店の従業員が優勝。今後も、効率化と価値向上の両立を目指し、取り組んでまいります。
- ◆ 小型業態について
らーめん専門店ぶぶかでは本格的なFC展開に向け、HP用動画を作成いたしました。また、ジンジン新宿店では、9月終了時点で売上前年同月比100%超えを79カ月連続で達成いたしました。



第2四半期（累計）のトピックス⑤

サガミインターナショナル

- ◆ タイ事業
「セントラル・ワールド店」「トンロー店」の2店舗を営業しております。
8月にはバンコク日本博に出店し、イベントで味噌串カツの販売を行いました。
- ◆ ベトナム事業
4月にベトナム2号店目として「水山 タイバンルン店」を新規オープンし、
「水山 高島屋店」と合わせて2店舗体制となりました。
これまで以上に多くのお客様にサガミグループ業態の味を楽しんでいただけるよう、日々営業を行っております。
高島屋店では、9月終了時点で売上前年同月比100%超えを15カ月連続で達成いたしました。
- ◆ イタリア事業
昨年11月にミラノ市内にオープンした「SAGAMI ミラノ駅前店」では、
SNSのフォロワーが、facebookは3,500人、Instagramは1,000人をそれぞれ超えました。
- ◆ その他
ベトナム・ベンチェ省より和食の研修生2名を日本に受け入れ、
約1カ月間の実習を行いました。



2020年3月期の業績予想

連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高	26,636	26,700
営業利益	715	600
経常利益	765	630
親会社株主に帰属する 当期純利益	76	140

2020年3月期について

- ◆ 新規出店の加速
主力業態である「和食麺処サガミ」、「味の民芸」の出店を行い、更なる店舗展開を実施してまいります。
- ◆ フランチャイズ事業の推進
らーめん専門店「ぶぶか」、手延べうどん業態「水山」、セルフうどん「どんどん庵」のフランチャイジー募集を本格的に実施いたします。
- ◆ CSV経営の推進
企業と社会の両方に価値を生み出す「共創価値」を向上させるために、ESG（Environment, Social, Governance）の取り組みを強化いたします。
環境保全活動の推進、社会貢献活動の継続、ガバナンスの強化を進め、持続的な企業価値の向上を目指します。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。